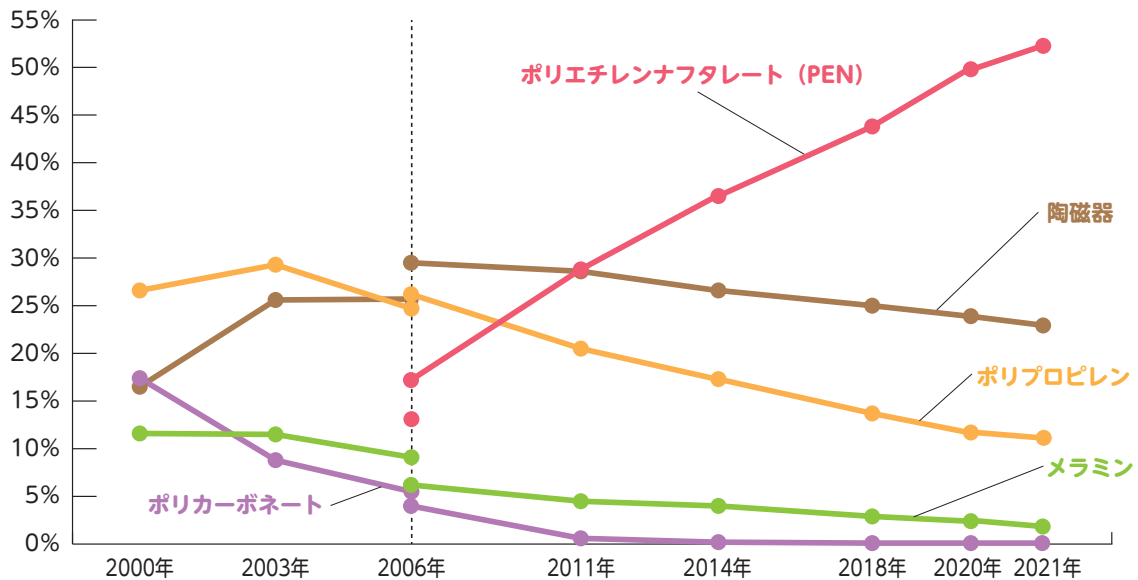


学校給食で広く評価されています!



「学校給食における食堂・食器具使用状況調査」

(小学校での割合。2000年～2006年までは文部省／文部科学省の調査。2006年以降は当社独自の調査です。)



文部科学省による調査(複数回答・学校単位)は、統計=100%に換算し掲載。
2006年以降は、当社独自調査(単一回答・児童食数単位)

	ポリプロピレン	ポリエチレンナフタレート (PEN)	メラミン	ポリカーボネート	陶磁器
2000年	26.6%		11.6%	17.4%	16.5%
2003年	29.3%		11.5%	8.8%	25.6%
2006年	24.7%	13.1%	9.1%	5.5%	25.7%
2006年	26.2%	17.2%	6.2%	4.0%	29.5%
2011年	20.5%	28.8%	4.5%	0.6%	28.6%
2014年	17.3%	36.5%	4.0%	0.2%	26.6%
2018年	13.7%	43.8%	2.9%	0.1%	25.0%
2020年	11.7%	49.8%	2.4%	0.1%	23.9%
2021年	11.5%	51.8%	2.1%	0.1%	22.9%

学校給食用食器の材質は、安全性が社会問題として取り上げられたことをきっかけに見直されて、移り変わっています。つまり、学校給食用食器の材質選定には、安全性が最優先されているのです。

無添加の
E-エポカル
(PEN樹脂製)なら
安心だね!



三信化工は2001年、世界で初めてPEN樹脂を採用した給食用食器「エポカル」を発売いたしました。そして2005年、キズがつきにくいラクシボ (PAT No.4683413) を採用した「E-エポカル」を発売しました。発売以来21年、多くの小・中学校で評価され続けている食器です。